



パワーミックス工法 ～既存木に対する施工手順

東邦レオ株式会社

1) 既存舗装撤去～客土掘削



表面舗装を剥がして、根の状態と踏床を確認します。



路床部分には樹木の根が多く存在しているので、根を傷付けない様、注意して掘削。細根が多い場合は、エアースコップ※を使用します。



※エアースコップ
根を傷つせず、風圧によって土を掘削していく工法です。

2) 樹木根系切除と養生 ※樹木医立会いのこと



チェーンソー・のこぎり等で根を切除します。



深く太い根は切らずに保存します。



根の切断面には、殺菌・癒合促進剤を塗布します。

3) 根系誘導耐圧基盤の撒き出しと転圧



下層に根系誘導耐圧基盤を設置します。



根系誘導耐圧基盤は一層23～24cm蒔き出し→振動プレートにて転圧後20cmに施工します。



転圧後の根系誘導耐圧基盤の粒径が潰れていません。この空間に根が伸張します。

4) 路盤の仕上げ



根系誘導耐圧基盤の上に路盤を撒き出します。



路盤は舗装工同様の転圧。その後、舗装を行い施工終了となります。